

伊万里有田共立病院経営強化プラン点検・評価書

令和6年度

伊万里有田共立病院

1 点検評価について

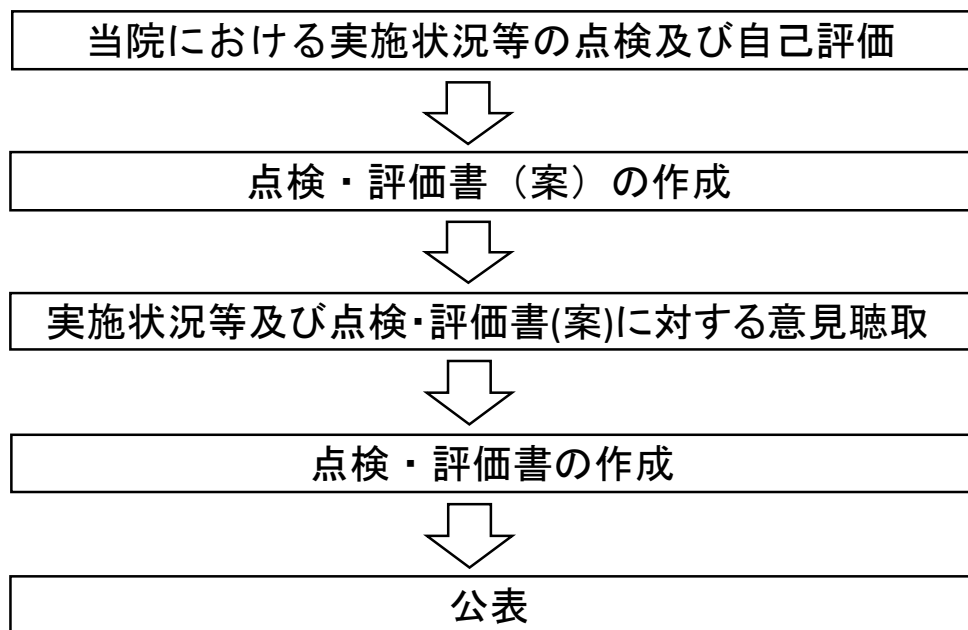
(1) はじめに

伊万里有田共立病院経営強化プラン(以下、「本プラン」という。)は、令和4年3月に総務省が発出した「公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえ、伊万里有田共立病院の経営に係る計画として、令和6年2月に策定しました。

本プランについては、実施状況についておおむね年1回程度の点検及び評価することとしています。

今回、所定の手続を踏まえ本プランの評価に関する意見聴取を地域医療審議会において実施し、令和6年度の本プラン実施状況についての点検及び評価を行いました。

(2) 点検・評価の進め方



(3) 評価方法

- A：目標どおり達成
- B：概ね達成（80%以上）
- C：ある程度達成（60%～80%未満）
- D：達成できていない（60%未満）

2. 指標に係る目標数値と評価

(1) 医療機能や医療の質、連携強化等に係る数値目標

年 度	R4年度実績	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	達成率	評価
救急車受入れ件数(件)	1,578	1,619	1,334	1,701	127.5%	A
地域救急貢献率 ※1	43.4	45.4	39.8	43.9	110.3%	A
救急患者数(人)	3,347	2,831	3,017	3,009	99.7%	B
手術件数(件)	1,694	1,555	1,511	1,602	106.0%	A
リハビリ件数(件)	53,098	51,540	54,275	51,632	95.1%	B
在宅復帰率(%)	84.9	86.6	86.3	87.0	100.8%	A
クリニカルパス使用件数(件)※2	352	355	305	431	141.3%	A
医師派遣等件数(件)	7	6	5	18	360.0%	A
紹介率(%)	82.6	92.2	83.2	92.1	110.7%	A
逆紹介率(%)	96.2	113.5	96.6	108.0	111.8%	A
臨床研修医受入れ件数(件)	1	0	0	0	-	-
地域医療研修の実施件数(件)	2	12	12	13	108.3%	A
健康・医療相談件数(件)	6,937	5,586	6,866	5,193	75.6%	C

(2) 経営の効率化等

年 度	R4年度実績	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	達成率	評価
経常収支比率 (%)	120.0	95.9	94.1	94.7	100.6%	A
医業収支比率 (%)	96.9	86.9	88.4	88.9	100.6%	A
修正医業収支比率 (%)	93.1	83.2	84.4	85.5	101.3%	A
職員給与費対医業収益比率 (%)	54.1	63.2	59.1	61.8	95.6%	B
病床利用率 (%)	68.3	60.3	61.6	66.8	108.4%	A
健診受入数 (人)	6,667	6,776	7,288	6,631	91.0%	B
1日平均入院患者数 (人)	141	124	137	138	100.7%	A
1日平均外来患者数 (人)	234	221	226	192	85.0%	B
入院患者1人当たり収益 (円)	55,199	53,395	51,315	53,424	104.1%	A
外来患者1人当たり収益 (円)	12,659	12,061	11,236	12,112	107.8%	A
材料費対医業収益比率 (%)	19.0	18.4	17.8	16.0	111.3%	A
委託費対医業収益比率 (%)	13.0	15.3	15.5	15.0	103.3%	A
光熱水費対医業収益比率 (%)	2.3	2.1	2.3	2.2	104.5%	A
後発医薬品使用割合 (%)	94.3	94.3	94.3	95.3	101.1%	A
常勤医師数 (人)	20	22	20	21	105.0%	A
現金預金保有残高 (百万円)	1,035	1,989	1,098	1,032	94.0%	B

(3)目標達成に向けた取組

①収入増加・確保に向けた取組

取組項目	取組み状況等
患者数の確保	診療案内の作成および地域の医療機関への定期的な訪問を行い、紹介率および逆紹介率を上げるよう取り組んだ。また、救急搬送患者の受け入れについても積極的に対応し、病床稼働率については最低でも目標80%を確保できるよう取り組んだ。 このほか、広報活動として広報紙を伊万里市および有田町の全戸に配布し、病院の取り組みや診療内容に関する情報の周知を図った。
診療報酬の確保	令和6年度診療報酬改定への対応として、新設加算の取得に向けた体制を整備し、施設基準への適合を図った。併せて、査定・返戻の抑制を目的に、毎月診療報酬勉強会を開催するとともに、関連部署との情報共有を図り、算定体制の連携強化に努めた。 また、未収金対策として文書等による催告を実施した後、回収困難とされていた未収金の一部を回収した。

②経費削減・抑制に向けた取組

取組項目	取組み状況等
医療機器整備の精査	医療機器の整備にあたっては、必要性および費用対効果を勘案し、優先順位を付け、予算を超える医師からの購入希望があっても次年度対応とするなど、内容を精査して進めている。令和6年度は、血管造影X線診断装置やMRIなどの更新を行った。 また、医療提供体制の充実に資する機器については、関連部署と協議のうえ、適宜整備を進めている。
診療材料の適正管理	薬品費の適正化を図るため、後発医薬品への切り替えを一層推進した結果、使用割合は目標を達成した。 診療材料費については、ベンチマークシステムを活用して他医療機関の購入額と比較を行い、その結果を踏まえて業者と価格交渉を実施し、削減に努めた。
経費の抑制	看護部、医療技術部等のユニフォームに係る賃貸借契約について、仕様書の見直しを行うとともに、供給業者の選定および契約条件の精査を実施し、賃借料の削減を図った。